

マックスバリュ大垣東店様来社



清水社長（左端）と弊社営業担当の []（右端）とマックスバリュ大垣東店の皆さん

八月二十日に大垣市イオンタウンにあるマックスバリュ大垣東店の社員四名様とそのお子様が来社されました。地元企業をもっと知りたいという熱い想いから来社されました。よりタニサケと「ゴキブリキャップ」の歴史と「ゴキブリキャップ」の特長などの説明を聞かれ、その後、[]さんの案内で工場見学をされました。来社された皆さんは、ノートにメモを取ったり、スマホで写真や動画を撮られていきました。特にゴキブリ飼育室の見学を望まれ、同伴されたお子様は、ゴキブリ図鑑を持参され見比べておられました。

[]さん（中央）の説明を熱心に聞かれる皆さん



鍵山秀三郎さんに学ぶ

「自分だけ」では

自分だけが幸せになろうとしても不可能なことで、「みんなで」幸せになる方法を考えることです。

『一日一話』鍵山秀三郎著より

虫よけアロマミスト
「ナチュラルハーブバリア」



ゴキブリ追放宣言

暑い夏の営業活動

二〇二五年ゴキブリシーズンもタニサケ営業マンは、ラウンダーの方々と協力しながら、各企業様の店舗巡回を行いました。

シーズン初めは気候の影響もあり、初動が不調でしたが、各員、タニサケ製品の販促用テレビモニターをはじめ各種販促ツールを取り付け、売り場メンテナンスを行いました。

弊社の主力製品である「ゴキブリキャップ」、そして「ムカデenjジャー」を多く「置くだけムカデenjジャー」を多くのお客様に手に取っていただけているよう、販促物の設置だけでなく、店舗スタッフ様とのコミュニケーションを図り、よりタニサケ製品のことを知っていただけるよう努めました。

今年の夏はここ数年の中でも異常な暑さでしたが、各員、熱中症に気をつけながら、できるだけ多くの店舗様を回りました。暑さで心が折れそうな時もありますが、そんな中、店舗スタッフ様に「ゴキブリキャップ」は効くからお客様にオススメして「よー」や「私もずっと使っています」などのお言葉をいただくと元気が湧いてきます。加えて、店内

で害虫にお困りのお客様にお声掛けをし、特長をご理解いただき、タニサケ製品をご購入いただいた時は、暑さも忘れ、次の店舗への足取りが軽くなります。

このようなことを繰り返しながら、皆で協力して活動して参りました。

営業マンとしては、店舗巡回が終われば、次は販売店様との商談の準備時期に入ります。来シーズンへ向けた商談は「ゴキブリキャップ」をはじめ既存製品に加え、新製品のリリースも予定しているため、情報収集など事前の準備を入念に行い、多くのお客様へタニサケ新製品をお届けできるように努めていきたいと思っております。



店舗に陳列された「ゴキブリキャップ」

「アメリカスイカ」収穫で皆笑顔

タニサケ名物のアメリカスイカが、八月中旬に無事収穫することができました。

スイカは、十二株植え、半数の六株を■さんが整枝し、残りは自然のまま成長させました。その結果、整枝したスイカは、自然のままのものに比べ、一〜二週間遅れて実をつけました。

途中カラスの被害に遭い、あわてて畑の上空に魚釣り用の糸を張り巡らせることで、その後カラスは来なくなりまりました。また、スイカへの水やりも、■さんが自動での散水装置を取り付けたおかげで、水の心配もなくなりました。

スイカは五十個以上収穫ができ、大きいもので十二キログラム以上ありました。それを休憩時間に皆でいただきました。今年は例年以上の猛暑で、冷たいスイカがとても美味しく感じました。残ったスイカは社員の皆さんに持って帰ってもらいました。

整枝したスイカと自然のままのスイカと比べると、若干整枝したスイカが甘く感じました。しかし、スイカの大きさは自然のままの方が大きいものが出来ました。

スイカを切り分ける■さん



10キログラム以上のスイカを収穫し、笑顔の■さん



甘いスイカに笑顔の■さん(左)と■さん(右)